

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	再発・進行子宮頸癌に対するペバシズマブ併用化学療法の安全性・有効性の検討
	研究目的	再発・進行子宮頸癌に対する化学療法の目的は、現在のところ症状緩和とそれによる QOL 向上とされている。子宮頸癌に対するペバシズマブ(BEV)の有効性が証明され、2016 年 5 月に本邦でも BEV が再発・進行子宮頸癌に保険適用となり、併用療法としての効果が期待されている。その一方で、瘻孔形成等の有害事象の出現も報告されている。 本研究では、当科で BEV 併用療法を施行した再発・進行子宮頸癌の症例の臨床経過を後方視的に検討することで、安全性を検討する。
	研究対象者	再発・進行子宮頸癌に対してペバシズマブ併用化学療法を施行した患者
	研究期間	西 暦 2018 年 9 月 7 日 ~ 西 暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	神奈川県立がんセンター 婦人科 小澤雅代
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	婦人科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし